

道徳だより

本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

道徳の時間の様子 4年生「雨のバスでいっしょで」みんな気持ちよく

みんなが気持ちよく過ごすために約束や社会の決まりがあることを理解し、それを守って行動する態度を育てることをねらいとして学習をしました。

授業の初め、児童に、「みんなで過ごす場所にはどんな決まりがあるか」と聞いたところ、「静かにする・歩く・大切に使う・よごさない」というマナーや決まりなどがあると発言しました。授業では、資料の「よし子」が行った順番ぬかしの意味を話し合いました。そして、その行為は単に悪いこと、自分勝手なことだけではなく、他の待っている人にとってはどんな行為なのか、順番を抜かされた人はどんな気持ちになるかなど、さまざまな人の立場から多面的に考えました。話し合いをしていく中で、みんなが気持ちよく生活していくために約束や決まりがあり、それを守る必要があることに気が付くことができました。

学校生活でも、順番を守る機会は多くあるので、単に守るだけでなく、順番の意味や並ぶ意味をその都度伝えていきたいと思います。



子どもたちのノートより

- ・決まりやマナーを守らなかったらどうなるか、まわりの人はどう思うのかを考えて、これから行動したいです。
- ・私は、これからルールやマナーを守って、他の人にも気づかえるようになりたいです。
- ・決まりがあるのは、みんなが気持ちよく生活するためだから、自分がなかなかできなかった「廊下を歩く」という決まりを、これから気をつけたいです。
- ・みんなが気持ちよく生活するために、マナーや決まりを守っていききたいです。そのためには、まわりの人のことを考えて行動することが大切だと思いました。